

# TOKYO MAIL NEWS



JR EAST  
TRANSPORT  
SERVICE WORKERS  
UNION

輸送サービス労組 東京地本

JTSU-E TOKYO

2022.1.12

No. 162



TWITTER

1月11日 東地申30号

「2021年度営業関係施策(その2)」についての申し入れ【五反田駅】

を行う!

五反田駅では、2022年2月1日よりJR東日本ステーションサービスへの駅業務全般委託が示されています。過去の施策を振り返ると、2021年3月13日に出札窓口の閉鎖が行われてからは…

発売する機会が無くなったことで

みどりの窓口

閉鎖と  
なりました。



社員の知識やスキルの低下が  
お客さまへのサービス低下に!?

今求められているのは

矢継ぎ早に施策を実施することではない!

グループ一体となってお客さまの信頼に応えるため、  
現場で働く人に「技能」「知識」を蓄積させるべきだ!

<申し入れ内容>

1. 五反田駅において、これまで実施してきた施策に伴う課題について、会社の認識を明らかにすること。
2. 五反田駅を駅業務全般委託とする目的と業務委託出来る根拠を具体的に示すこと。
3. 株式会社JR東日本ステーションサービスからの実習生に対して行う教育について、教育内容、習熟度の把握方法について具体的に示すこと。
4. 五反田駅が管理している駅間の門扉について、施策実施後の取扱いについて考え方を示すこと。
5. 管理駅となる大崎駅の役割と体制について明らかにすること。
6. 施策実施後、東急線との終電接続・逆接続(駅・指令・乗務員)の方法、情報のやり取り等について具体的に示すこと。また、終電接続が不接続となった場合、タクシー代行を行う際の考え方について具体的に示すこと。
7. 施策実施に伴う社員の異動・出向については本人希望、生活設計に配慮し実施すること。

労使で認識を合わせなければ良い施策とはならない!

地本は現場で働く仲間と共に、団体交渉に臨みます!